

函館工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	英語特別演習 I	
科目基礎情報							
科目番号	0196			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	社会基盤工学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	1		
教科書/教材	公式TOEIC® Listening & Reading ブラクティス リーディング編						
担当教員	白田 悦之						
到達目標							
1. 社会に出て実際に使われるビジネス英語に慣れリーディングの知識を習熟する 2. ビジネスで使われるTOEIC®テストのリーディングの知識を活かすことができる 3. 英語を英語のまま理解する処理能力のスピードを高め、リーディングセクション300点以上のスコアをとれる							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1：リーディング・スキル		TOEIC® L&Rテストのリーディングセクションで 300点以上のスコアをとることができる		TOEIC® L&Rテストのリーディングセクションで 275～300点のスコアをとることができる		TOEIC® L&Rテストのリーディングセクションで 275点以上のスコアをとることができない	
評価項目2：ボキャブラリー		TOEIC® L&Rテストのリーディングセクションで 300点以上の語彙力を身につけることができる		TOEIC® L&Rテストのリーディングセクションで 275～300点の語彙力を身につけることができる		TOEIC® L&Rテストのリーディングセクションで 275点以上の語彙力を身につけることができない	
学科の到達目標項目との関係							
函館高専教育目標 E							
教育方法等							
概要	国際社会で活躍する技術者として必要な英語の基礎的コミュニケーション力を身につけることを目的とし、TOEIC®テストリーディングセクションで300点レベル以上を目指す。そのため、リーディングセクションで250点レベルの基本的なビジネス英語力を身につけているという前提で授業を進めていく。授業は、学習到達目標を達成するためにTOEIC®テストリーディングの問題演習を中心に行う。						
授業の進め方・方法	① 毎回演習形式(Mini test)で行う ② 授業外での学習と演習を大前提とし、自宅でTOEIC®テストリスニング&リーディングの問題演習を行う ③ Mini testの結果をモニタリングして、弱点分野の補強を図る						
注意点	TOEIC®テスト500点レベルは既に到達済みと見なして授業を進める。校内で行われるTOEIC® IPテストまたは外部で行われる公式のTOEIC®テストを、前期中に必ず1回以上受験しておくことが前提で、500点を超えなかった場合は授業の初回までにその力をつけるべく猛勉強しておく必要がある。 1月実施のTOEIC® IPを受験しスコアが600点を超えた場合、学年末試験の結果が不合格でも、最終成績は合格とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週	ガイダンス、振り返り 文法要素の整理と確認（文の要素と品詞、動詞、形容詞・副詞、前置詞、代名詞、接続詞・前置詞）		授業の進め方が理解できる。自分の強みと弱みを再確認し、今後の学習の指針を理解できる。 Part 5に出題される文法要素を確認でき、不得意分野克服の計画を立てられる。		
		10週	Mini Test 1 広告、お知らせ、記事、Eメール、手紙などの構成について		Mini Test 1をやった後、結果から強みと弱みを発見できその先の学習の指針を理解できる。 広告、お知らせ、記事、Eメール、手紙などの構成について理解でき、Part 6での出題パターンを確認できる。		
		11週	Mini Test 2 文書の概要と詳細情報のつかみ方		Mini Test 2をやった後、結果から強みと弱みを発見できその先の学習の指針を理解できる。 文書の概要と詳細情報のつかみ方を理解でき、Part7での活かし方を理解できる。		
		12週	Mini Test 3 推測的読解法や複数人のやりとりの読み方		Mini Test 3をやった後、結果から強みと弱みを発見できその先の学習の指針を理解できる。 推測を交えて読む方法や、複数人のやりとりの読み方を理解できる。		
		13週	Mini Test 4 段落ごとの要点のつかみ方		Mini Test 4をやった後、結果から強みと弱みを発見できその先の学習の指針を理解できる。 段落ごとの要点のつかみ方を理解できる。		
		14週	Mini Test 5 複数文書を関連付ける読み方		Mini Test 5をやった後、結果から強みと弱みを発見できその先の学習の指針を理解できる。 複数文書を関連付けて読む方法を理解できる。		
		15週	Final Test 振り返り		Final Testをやった後、結果から強みと弱みを発見できその先の学習の指針を理解できる。 Mini Test1～Final Testの結果を振り返り、向上した点と弱点を確認し学年末試験への準備ができる。		

		16週	答案返却 ※試験は学年末試験期間中に実施する 振返り		間違った問題の正答を求めることができる。 試験結果から自分の強みと弱みを再確認し、今後の学 習方法の計画を立てられる		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題＋小テスト	レポート	態度	ポートフォリオ	課題	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0